

2025年9月19日

各位

会社名 株式会社SANKYO  
 代表者名 代表取締役社長 小倉敏男  
 (コード番号 6417 東証プライム)  
 問合せ先 常務執行役員 管理本部長 赤石昌大  
 (TEL. 03-5778-7777)

2026年3月期第2四半期（累計）業績予想及び配当予想に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、未公表としていた2026年3月期第2四半期累計期間の業績予想を下記のとおり公表いたします。また、当社配当方針に従い、未定としていた第2四半期末及び期末の配当予想についてもあわせて公表いたします。

記

1. 第2四半期業績予想の公表について

(1) 2026年3月期 第2四半期（累計）連結業績予想（2025年4月1日～2025年9月30日）  
 （単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益（円）
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	100,000	38,000	39,000	28,000	131.96
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2025年3月期第2四半期)	90,729	36,288	36,740	26,235	119.54

(2) 2026年3月期第2四半期（累計）連結業績予想の開示理由

当社グループは事業計画を年次で管理しており、通期業績予想のみ開示しておりますが、主力のパチンコ・パチスロ遊技機の2025年9月末までの納品の見通しがほぼ固まったことから、第2四半期の着地見込みを算出いたしましたので、今般業績予想として公表を行うものです。

当第2四半期累計期間におきましては、パチンコ機関連事業において、人気アニメ作品「東京喰種」や「ブルーロック」などの新規タイアップ商品の投入を積極的に進めてまいりました。中でも、4月に投入した「e東京喰種」は、ファン・パーラーから高い評価を獲得し、追加販売を実施するなど、パチンコ市場を牽引するヒット機種となりました。また、新たなゲーム性であるLT3.0プラスを搭載した「eフィーバー炎炎ノ消防隊2」の投入も行うなど、上半期までに新規5タイトルを販売いたしました。これら充実したラインナップにより、販売台数は堅

調に推移しております。

一方、パチスロ機関連事業におきましては、新規2タイトルに加え、長期にわたり高稼働を維持している2タイトルの増産にも対応し、販売台数を順調に積み重ねております。

この結果、パチンコ機販売台数は160千台（前年同四半期は83千台）、パチスロ機販売台数は40千台（同80千台）となり、売上高は1,000億円（前年同四半期比10.2%増）、営業利益は380億円（同4.7%増）となる見通しです。

なお、2026年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点で2025年5月12日公表の数値に変更はございません。今後、修正が必要となった際には速やかに公表いたします。

## 2. 配当予想の公表について

### (1) 配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2025年5月12日発表)	—	—	90.00円
今回予想	45.00円	45.00円	90.00円
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	40.00円	60.00円	100.00円

### (2) 配当予想の開示理由

当社では、連結配当性向40%を目安とした業績連動型配当を行うことを基本方針としております。なお、第2四半期末配当金（中間配当金）につきましては、第2四半期累計期間の連結配当性向40%を配当金総額の目安としますが、中間配当金を決定する時点での通期1株当たり配当金予想金額の50%を上限とします。

本日公表した第2四半期業績見通し及び上記の配当方針に基づき、未定としていた中間配当金につきましては、1株当たり45円とする予定です。なお、年間配当金につきましては1株当たり90円の予想を据え置き、期末配当は45円となる予定です。なお、今後業績予想の修正が必要となった場合は、上記配当方針に基づき見直すことといたします。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上